

問1 7世紀半ば、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を広げ、百済を滅ぼしました。これを受けて、当時の日本（倭国）がとった行動とその結果として正しいものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 唐と結んで朝鮮半島での権益を確保しようとしたが、白村江の戦いで新羅の軍勢に敗北した。 | 2. 元（モンゴル帝国）の侵攻を阻止するために朝鮮半島へ出兵したが、文永の役で大敗を喫した。 | 3. 高句麗の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。 | 4. 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。 |
|---|--|---|--|

問2 663年に朝鮮半島の西南部の海域で発生した「白村江の戦い」とその後の日本の動向について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 唐・新羅の連合軍に敗れた後、唐の侵攻に備えて防人や烽（とびひ）を配置した | 2. 元の軍勢を暴風雨の助けを借りて退け、これを機に武士の力が強まった | 3. 女真族の侵入をきっかけに、朝廷は遣唐使の派遣を完全に停止した | 4. この戦いに勝利したことで、日本は朝鮮半島南部での影響力を強めた |
|---|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|

問3 663年の白村江の戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に大敗した倭（日本）の政権が、大陸からの侵攻に備えて九州や瀬戸内沿岸で実施した防衛策として最も適切なものを選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 大宰府の北側に水城を築き、各地の要所に朝鮮式山城を造った | 2. 大陸との交流を断絶するため、遣唐使の派遣を完全に停止した | 3. 東北地方に多賀城を築き、蝦夷の反乱に備えて鎮守府を置いた | 4. 博多湾の沿岸に石築地（元寇防壁）を築き、武士を動員した |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|

問4 7世紀初頭の飛鳥時代に建立された、現存する世界最古の木造建築物として知られる、この時代の仏教文化を代表する寺院の名称を選びなさい。（2018年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|
| 1. 平等院鳳凰堂 | 2. 東大寺 | 3. 延暦寺 | 4. 法隆寺 |
|-----------|--------|--------|--------|

問5 舒明天皇や皇極天皇の流れを汲む天皇家において、中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌足が大化の改新を進めた後の時代に起きた「壬申の乱」の説明として正しいものはどれか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 唐・新羅の連合軍に敗北したことをきっかけに、国内の防衛体制を整えるために起きた争い。 | 2. 蘇我氏の独裁的な政治に不満を持った皇族たちが、宮中で蘇我入鹿を暗殺した事件。 | 3. 後白河法皇の後継者問題をめぐり、源氏と平氏が対立して京都で発生した大規模な戦乱。 | 4. 天智天皇の弟である大海人皇子が、天皇の息子である大友皇子を倒して実権を握った争い。 |
|---|---|---|--|

問6 894年に菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されましたが、その背景として当時の中国や東アジアの情勢を正しく説明しているものを選びなさい。（2023年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 中国で仏教が弾圧され、日本が求める最新の仏教文化を学ぶことが不可能になったため | 2. 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られなくなったため | 3. 平氏による日宋貿易が盛んになり、公的な使節を送らなくても物資が十分に入るようになったため | 4. モンゴル帝国の勢力が拡大し、日本に対して服属を求める圧力が強まったため |
|--|--|---|--|

問7 7世紀後半、日本（倭国）は朝鮮半島への出兵で大敗したことをきっかけに、急速に国家体制の整備を急ぐこととなりました。この時期の歴史的な流れについて説明した文として、正しいものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 藤原京を造営した後に白村江の戦いが起き、その混乱に乗じて壬申の乱という後継者争いが発生した。 | 2. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利したことで、日本は朝鮮半島での影響力を強め、その記念として藤原京を造営した。 | 3. 壬申の乱で勝利した持統天皇が、百済を救援するために白村江の戦いを引き起こし、その戦費をまかなうために藤原京から平城京へ遷都した。 | 4. 白村江の戦いでの敗戦後、国内の守りを固める必要が生じ、のちに壬申の乱を経て実権を握った天武天皇らが藤原京の造営や律令の整備を進めた。 |
|---|---|---|---|

問8 663年の白村江の戦いにおいて唐・新羅の連合軍に大敗したのち、倭（日本）は国家存亡の危機に直面しました。この事態を受けて即位した天武天皇が、天皇を中心とする中央集権体制を確立するために、人々の氏姓を整理し、全国規模で初めて作成した戸籍を何と呼びますか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|------------|----------|
| 1. 庚寅年籍 | 2. 庚午年籍 | 3. 聖徳永年私財法 | 4. 班田収授法 |
|---------|---------|------------|----------|

問9 白村江の戦いでの敗北を受け、九州北部には水城や大野城といった防衛施設が次々と建設されました。これらの施設や海岸線の警備にあたるため、主に東国などの遠方から徴用され、九州へ派遣された兵士を何と呼びますか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 御家人 | 2. 防人 | 3. 健児 | 4. 武士 |
|--------|-------|-------|-------|

問10 7世紀初め、推古天皇の摂政として政治を行い、家柄にとらわれず才能や功績のある人物を役人に登用する「冠位十二階」や、役人が守るべき道徳的な心得を記した「十七条の憲法」を定めた人物は誰か。（2020年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|----------|---------|----------|
| 1. 徳川綱吉 | 2. 後醍醐天皇 | 3. 聖徳太子 | 4. 大久保利通 |
|---------|----------|---------|----------|

問11 聖徳太子が活躍した飛鳥時代初期の文化や制度に関する記述として、正しいものはどれですか。（2026年 奈良県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 武士の心得を記した成文法が作られ、各地の守護や地頭がこれに従って土地を統治した。 | 2. 世界最古の木造建築群とされる法隆寺が建立され、仏教を中心とする文化が栄えた。 | 3. 漢文体による十七条の憲法に加え、律（刑罰）と令（政治規定）が同時に整備された。 | 4. 個人の家柄を重視し、氏姓制度に基づいて特定の氏族が世襲で高い官職を独占した。 |
|---|---|--|---|

問12 大化の改新から始まった中央集権国家への移行は、701年の大宝律令の制定によって一つの完成を見た。この「律令国家」において、政治の基本的な仕組みとして導入された、土地と民衆を国家が直接支配する制度の考え方を何と呼ぶか。（2018年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 班田収授 | 2. 地租改正 | 3. 公地公民 | 4. 寄進地系荘園 |
|---------|---------|---------|-----------|

問13 中大兄皇子（天智天皇）らが、有力豪族であった蘇我氏を打倒して開始した「大化の改新」と呼ばれる政治改革の主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1. 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること | 2. 武士の力を結集し、地方の反乱を抑えること | 3. 大陸との交易を制限し、独自の文化を育てること | 4. 仏教の力を借りて、国家の混乱を鎮めること |
|-----------------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|

問14 用明天皇の皇子であり、叔母にあたる推古天皇の摂政として、蘇我馬子と協力しながら政治を行った人物は誰か。（2020年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 大海人皇子 | 2. 藤原不比等 | 3. 中大兄皇子 | 4. 聖徳太子 |
|----------|----------|----------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。	当時の朝鮮半島では、唐と新羅が連合して百済や高句麗を圧迫していました。660年に百済が滅亡すると、日本は古くから交流のあった百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵しました。しかし、663年に錦江の河口付近（白村江）で行われた戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に圧倒的な軍事力の差で敗れました。これにより、日本は朝鮮半島における拠点を完全に失うこととなりました。
問2	答え 1 唐・新羅の連合軍に敗れた後、唐の侵攻に備えて防人や烽（とびひ）を配置した	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北した日本は、大陸からの報復を強く警戒しました。そのため、九州の防衛のために防人を置き、急を知らせるための烽（のろし）のネットワークを整備しました。また、天智天皇は都を内陸の近江大津宮へ移すなど、国家の防衛と中央集権化を加速させました。選択肢にある元の侵攻（元寇）や女真族の侵入（刀伊の入寇）は、いずれも白村江の戦いよりも後の時代の出来事です。
問3	答え 1 大宰府の北側に水城を築き、各地の要所に朝鮮式山城を造った	白村江の戦いで大敗を喫した倭の政権は、唐・新羅の連合軍が日本列島へ攻めてくることを恐れ、急ピッチで国防を整えました。中大兄皇子（天智天皇）は、亡命してきた百済の貴族の指導のもと、対馬や北九州から瀬戸内沿岸にかけて山城（朝鮮式山城）を築かせ、さらに九州の政治拠点である大宰府を守るために大規模な土塁と堀を持つ「水城（みづき）」を建設しました。また、防人（さきもり）を配置して沿岸の警備を強化しました。
問4	答え 4 法隆寺	飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたとされる寺院で、現存する世界最古の木造建築物としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。この時代の文化は飛鳥文化と呼ばれ、中国や朝鮮半島など大陸の技術や仏教の影響を強く受けているのが特徴です。
問5	答え 4 天智天皇の弟である大海人皇子が、天皇の息子である大友皇子を倒して実権を握った争い。	壬申の乱は、天智天皇の死後にその弟である大海人皇子と、後継者とされていた息子の大友皇子の間で起きた、古代最大の内乱です。この争いは、天智天皇が進めた近江大津宮での政治に対する地方豪族の不満なども背景にあり、最終的に吉野で挙兵した大海人皇子が勝利しました。これにより、勝利した天武天皇による強力な天皇専制政治が実現することとなりました。
問6	答え 2 派遣先の王朝が衰退して国力が弱まり、往復の航海に伴う危険に見合う成果が得られにくくなったため	9世紀後半の唐では、国内で反乱が相次ぐなど政治的な混乱が続いて衰退しており、日本が学ぶべき魅力が薄れていました。また、東シナ海を渡る航海は非常に命がけであったため、菅原道真は費用やリスクに対して得られるメリットが少ないと判断し、派遣の中止を提案しました。これがきっかけとなり、日本の独自の風土に合わせた国風文化が発展することになります。
問7	答え 4 白村江の戦いでの敗戦後、国内の守りを固める必要が生じ、のちに壬申の乱を経て実権を握った天武天皇らが藤原京の造営や律令の整備を進めた。	663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した倭国は、大陸からの侵攻に備えて防衛を強化するとともに、強力な中央集権国家を形成する必要に迫られました。その後、672年に起きた壬申の乱に勝利した天武天皇、およびその跡を継いだ持統天皇によって、日本初の本格的な都城である藤原京の造営が行われ、律令国家の仕組みが整えられていきました。
問8	答え 1 庚寅年籍	白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅による日本侵攻の脅威が高まったため、天武天皇は強力な軍事・財政基盤を必要としました。そこで、人々の身分を確定させ、兵役や税の徴収を確実にを行うための基礎資料として全国的な戸籍である「庚寅年籍」の作成を命じました。これにより、豪族が個別に支配していた人民を天皇が直接支配する中央集権化が大きく進みました。
問9	答え 2 防人	唐や新羅の侵攻に備えるため、当時の政府は全国から兵士を徴用しましたが、特に九州北部の警備には「防人（さきもり）」が配置されました。彼らの多くは東国の農民から選ばれ、住み慣れた故郷を離れて厳しい任務に就きました。その苦しみや家族への思いを詠んだ歌は『万葉集』に「防人歌」として数多く収められています。
問10	答え 3 聖徳太子	推古天皇を助ける摂政として活躍したこの人物は、中国の進んだ制度を取り入れることで、天皇を中心とした中央集権的な国家体制の基盤を築こうとしました。これは後の律令国家形成に向けた重要な一歩となりました。
問11	答え 2 世界最古の木造建築群とされる法隆寺が建立され、仏教を中心とする文化が栄えた。	聖徳太子は十七条の憲法の制定だけでなく、推古天皇の摂政として仏教を厚く保護しました。その象徴が七世紀初めに建立された法隆寺であり、当時の進んだ建築技術や仏教文化を今に伝えています。太子は、家柄に縛られない人材登用を目指す「冠位十二階」なども定めており、それまでの氏姓制度（家柄重視）による政治からの転換を図りました。律令が本格的に整うのは後の時代になります。
問12	答え 3 公地公民	大化の改新の詔（みことのり）で示された最も重要な方針が、それまで豪族が私有していた土地や民を国家のものとする「公地公民」である。この方針は壬申の乱を経て強化され、大宝律令に基づく戸籍の作成や班田収授法の実施によって具体化された。これにより、国家が民衆から直接税（租・庸・調）を徴収する仕組みが確立した。
問13	答え 1 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること	蘇我氏のような特定の豪族が政治の実権を握る状況を打破し、土地や人民を国家（天皇）のものとする公地公民の制などを導入しようとしてしました。これは、当時の中国の律令制度を模範とした中央集権的な国家体制の構築を目指したものです。
問14	答え 4 聖徳太子	推古天皇の時代に摂政という重要な役職に就き、豪族の蘇我馬子とともに改革を進めました。家柄に関係なく才能ある人物を登用する冠位十二階を定めるなど、天皇を中心とした国家体制の整備に尽力した人物です。